

創立62周年記念式典（酒井國男会長 あいさつ）

平成21年11月3日

平成21年8月30日に投・開票が行われました衆議院総選挙は、自民党の敗北、民主党の大勝利に終わり、歴史的な政権交代となりましたことはご存知のとおりであります。

総選挙前に明らかにされました民主党のマニフェストでは、自民党政権下で実施されてきた社会保障費年2,200億円の削減を廃止することを公約しておりますし、「総医療費を対GDP比で、OECD加盟国平均の8.9%程度まで引き上げることを目指す」とするなど、医療や福祉政策には、自民党政権よりも、温かみのある姿勢がうかがわれます。

しかしながら、鳩山政権が政治主導という名の下で、国民のために、どのような政策が本当に実行されていくのかを見極め、我々なりの評価をしていかねばならないと考えております。

私たち医師会の使命は、国民のために安全で安心な医療を公平に提供できるようにすることです。そのためには、いかなる政権であっても、我々は常に国民や患者さんの立場に立って、国民に理解される、しっかりとした政策提言を行う必要があると考えております。

私ども、大阪府医師会は、この創立62周年を契機として、諸先輩が築かれた伝統を受け継ぎ、社会保障としての医療を守ることは当然のことながら、地域医療の崩壊を一刻も早くよみがえらせ、国民のすべてが安心して安全な医療が受けられるよう、会員一丸となって努力していく覚悟です。皆様方の一層のご支援、ご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます、私の式辞とさせていただきます。